

# 1999.8.11日食見物単独行

平林 光

## [はじめに]

私は日食情報センター事務局の大越さんの理科大天文研の後輩にあたる者です。

日食を観に行く旅行の形態はパッケージツアー（主催旅行）が圧倒的に多いですが、私は海外旅行が趣味でもある関係で、今回の皆既日食、全行程を自分でアレンジして単独で旅行してきました。いわゆる個人旅行（手配旅行）というスタイルです。

パッケージツアーと違い、個人旅行では計画立案や手配などたいていのことは自分でやらなければなりません。読者の皆さんの参考になるかどうかはわかりませんが、私が実際にどう計画を立て手配して渡航したかと言う話を紹介することに重きをおいて、今回の日食見物旅行（「観測」と言えるようなこととしてませんので）を振り返ってみます。

## [基本計画の検討]

今回の日食は皆既帯が比較的アクセスの容易な地域を通るということがわかっておりました。何度か個人で海外渡航した経験もあるので、早くから個人で渡航しようと決めていました。

目的地ですが、正直何がなんでも皆既を見てやるというほどの意気込みではなかったので、旅のしやすさと晴天率が折り合いそうな場所、ということで検討し、結局ハンガリーに決めました。同国は旧東側諸国では比較的治安も良く旅行しやすいという情報があり、温泉があるというのも魅力に感じて決めました。

調査段階では治安情報についても調べました。日本の外務省の web ページは良く知られていますが、具体的な情報に乏しくあまり参考になりませんでしたので、著名ガイドブック「Lonely Planet」のサイトと、米国国務省のサイトを参考にしました（ともに英語）。

<http://www.lonelyplanet.com.au/>

<http://travel.state.gov/>

日程は、8月5日（金）出発で、ブダペスト4泊、巴拉トン湖（巴拉トンフェレド）3泊、ウィーン2泊で15日（日）に帰国する10泊11日のスケジュールを組みました。日食に曇られてもハンガリーとオーストリアでそれなりに観光が楽しめるように、という計画でした。

## [諸手配]

最も航空券料金が高く予約も殺到する時期の渡航なので、航空券の手配は急ぎました。3月に某旅行会社に問い合わせたところ、幸い希望するフライトでの格安航空券（ルフトハンザ）をすぐに押さえることが出来ました。この航空券は、成田⇄フランクフルト往復フライトに欧州地域内2フライトを加えて1件の商品、というもので、欧州方面への旅行ということで売られている格安航空券のひとつの典型です。行きはフランクフルト→ブダペスト、ブダペストからウィーンへは国際列車で移動することにして（これは別途自費負担）、帰りはウィーン→フランクフルトということに決めて予約しました。

宿は、5つ星分類なら3つ星程度の中級ホテルを探しました。日本の旅行代理店経由ではこのクラスの宿が手持ちのリストに少ないので、インターネットでハンガリー、オーストリアの観光関連 web サイトを調べ、予約はサイトから直接申し込むか、e-mail & FAX しました。両国のサイトとも内容は充実していて、ホテルの空室状況、設備、料金などかなり詳しい情報が出ていました。

## [日食前日と当日の様相]

見物地候補として、バラトンフェレドの東のティハニという町を出発前からピックアップしておきました。ツアーの観測地ではないのであまり日本人は来ないでしょうから、自分だけの構図で28mm広角の写真撮ってやろう、と言う狙いです。前日下見に行き、ここにある美しい教会（写真1参照）の北側を見物地に決めました。

当日ですが、ハンガリーに来てからずっと快晴だったのが、前日昼過ぎから気温が下がり雲も増えていたので、嫌な予感で朝を迎えたところ雨。こりゃあ無理かなと思っているうちに青空が見えだし、何はともあれ喜び勇んでティハニに路線バスで向かいました。着いたところ、地元のテレビ局のクルーが中継のためすぐ近くに陣取っていました。それはいいのですが昨日決めた場所が教会に近すぎて良くないことに気づき、あわてて代替地を探し回り、もう少し北に適当な場所（丘）を何とか見つけました。着いたのは午前10時頃だったと思いますが、すでにかなりの方々に来ていました。地元の方々に加え、イタリアから来たグループもいて、黒点を見せてもらったりしました。

第1接触のころは好天でしたが、徐々に雲が流れてきて、皆既10分前くらいでは、太陽の前の雲の量が多かったのもう駄目じゃないかと思いました。これまた運の良いことに、5分前くらいで雲が切れ、皆既を観ることが出来ました（写真2参照）。

以下、一応の報告です。

- ・観た場所；北緯46度55分03秒、東経17度53分21秒（持参したGPSにて測定）
- ・コロナ；全方位に広がり、いわゆる極大型。ごく淡く黄色を帯びた真珠色、というのが私の印象です。
- ・プロミネンス；ロゼワインを濃くしたような色で、たくさん発生していました。今回の日食で最も印象的な眺めでした。
- ・皆既中の空の色；地平線方向の夕焼け色が以前観た時（95年タイ）よりも深い感じがしました。後で、皆既中はかなり暗かったと言う情報を耳にしましたが、それと合致するのでしょうか。
- ・ダイヤモンドリング；第2接触でも第3接触でも見られました。
- ・シャドーバンド；第2接触前に西北西方向から東南東方向に流れるのを観ることが出来ましたが、第3接触後は観られませんでした。

余談ですが、皆既直前、何かの企画でいらしていた女性の歌手（ビデオ係同伴）がアカペラでアリアを一曲歌ってくれたのが楽しいハプニングでした。それから、ツアーでバラトンフェレドに来ていた同じ理科大天文研OBの何名かと皆既前日と当日の夜に会って飲みました。皆既の後の飲み会はちょっと飲み過ぎて参りました。

### [ハンガリーの印象]

主に訪れたのが観光地だったせいか英語は何とか通じました。治安も特に悪いという印象はなかったです。食事は、味つけが日本人の口に合う印象で概ねおいしくいただけました。

観光の話はたくさんあり過ぎてとても語り尽くせませんが、何かひとつと言えば、世界遺産にも指定されているブダペストの街の歴史的建造物の美しさや博物館の展示の素晴らしさで、西洋への渡航経験が米国に偏していた私には大変新鮮な印象でした。それに温泉。毎日のリフレッシュに大変役立ちました。

他に、2時間ほどでしたがスロヴァキアを訪れたこと、オリエント急行でブダペスト→オーストリアを移動し、ウィーン観光も楽しんできたのも印象的な思い出です。

### [費用など]

ざっと38万円の出費でした。宿のクラスは落としましたが、それを割り引いてもパッケージツアーと

同等か安く上がったぐらいの費用でした。

### [個人旅行は「自己責任」]

今回の私の旅行は単独行でしたが、例えば少人数グループでもっと自由に旅をして日食を見たい、と思うならばこれまでの話をひとつの参考にして個人旅行（手配旅行）を検討されてみるのも良いかも知れません。

ただし、パッケージツアー（大人数）vs. 個人旅行（少人数）というスケールの問題以前に重要なことがあります。それは、個人旅行は「自己責任」が原則だということです。

良い例が飛行機の遅れ／欠航です。パッケージなら旅行会社側が交渉してくれますし、予定通り行けない場合は補償金がもらえたりします。個人旅行では自分で航空会社に交渉しなければならないうえ（日本語が通じるとは限りませんよ）、補償は皆無。最悪航空券の買い直しだって有り得ます。最近のメディアは「気ままな旅」ということで個人旅行熱を煽っている傾向がありますが、自己責任原則を理解していないと深刻なトラブルになる可能性もありますので注意が必要です。

### [次は？]

次は2001年アフリカ南部ですが、とりあえず行くつもりで情報収集を始めました。現地の治安が問題のようで、現時点では個人で気楽には行けそうもない印象です。パッケージツアー参加になるかも知れません。

写真1；「バラトン湖上から見たティハニの修道院教会」

写真2；「皆既中の風景（下に見える建物がティハニ修道院教会）」

